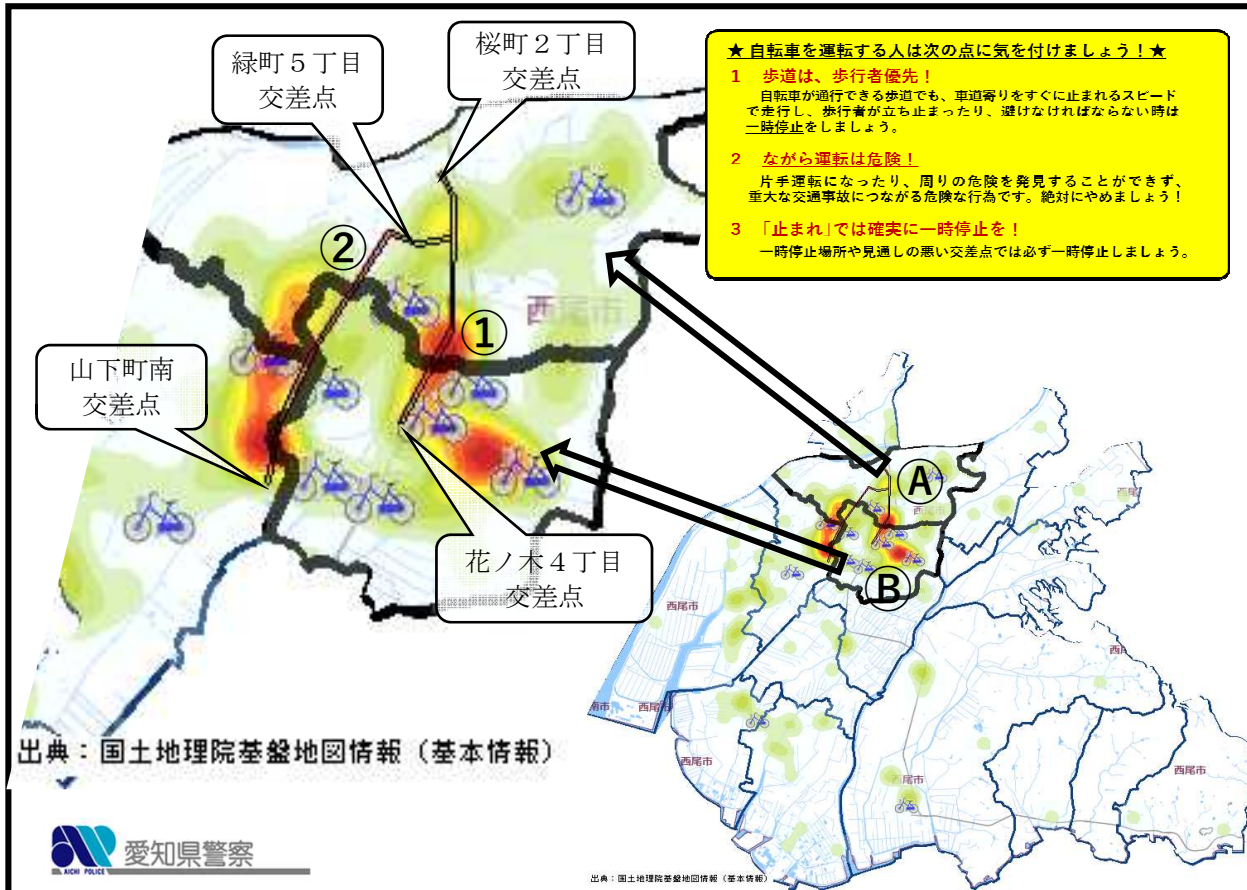


# 令和7年自転車指導啓発重点地区及び路線

西尾警察署



自転車事故件数			
区分	西尾警察署 管内		
	R4.1 ～R6.10	重傷事故	死亡事故
自転車関連事故	177	12	0

### 凡 例

<p> 自転車事故密度分布</p> <p>低 高</p> <p> 自転車指導啓発重点地区</p>	<p> 自転車指導啓発重点路線</p> <p> 重傷事故発生場所</p>
--	--------------------------------------

**【重点地区】**

(A) 鶴城交番管内

選定理由

管内に中学、高校が複数あり多数の自転車通学と一般の自転車利用者、歩行者の動線が輻輳している地区でもある。過去3年間の自転車事故の件数がワースト1位であるため。

**【重点地区】**

(B) 中央交番管内

選定理由

管内最大の主要駅である名鉄西尾駅を有しており、自転車重傷事故も多発している。過去3年間の事故の件数が鶴城交番管内と並びワースト1位であるため。

出典：国土地理院基盤地図情報（基本情報）



出典：国土地理院基盤地図情報（基本情報）

①	主要地方道豊田一色線
桜町2丁目 交差点	花ノ木4丁目 交差点
2,300 m	
選定理由	
主要幹線道路で車両の通行量が多く、名鉄各駅、商業施設利用の他通勤通学で自転車利用者も多い。事故件数も多く、指導・啓発が必要であるため。	

②	県道西尾環状線
緑町5丁目 交差点	山下町南 交差点
2,500 m	
選定理由	
名鉄桜町駅、図書館利用のため自転車利用者が多い。車両の通行量も多いが交差する箇所を中心に事故が多発しているため指導・啓発が必要であるため。	